スッポンMソフト® 据付・試運転

塩ビ管･鋼管/ポリ管(JIS)･SUS 管用

正しく安全にご使用いただくために

据付・試運転時

⚠注意・・・落下、転落による事故防止

(1) バルブの吊り上げ・玉掛けは、吊荷の下には立ち入らないなど安全に十分注意して作業してください。

(2) 作業を行うときは、足場の安全を確保し、不安定な管の上などでの行為は避けてください。

これらの注意を怠ると、障害事故の生ずる恐れがあります。

正しい運転

☆適正な圧力範囲で使用してください。

☆**止水には無理な締め込みは不要です。**

☆**ＯＮ－ＯＦＦ遮断運転が原則です。**

絞り運転は、騒音・振動の原因になりバルブの寿命を早めることがあります。

☆据付姿勢は**立置きが原則**です。

立置き以外では、止水性能が低下することがあります。

据付前の確認事項

製品は、相手配管に正しく据付けることで、その性能を発揮します。
そこで、据付前に次のことを確かめてください。

(1) 製品異常の確認
- バルブの内面や外面に、異物の付着や部品の損傷がない。
- バルブの組立ボルトに緩みがない。

(2) 相手配管の確認
- 管切断部の「かえり」は取り除く
- 傷、打痕などの異常がなく、滑らかで清浄である。
- 配管内部には、異物などがない。
- 上、下流パイプの配管中心がほぼ一致しているのが良い。
  (±4° の受口曲げに耐えられるようにするため)

据付作業

・据付姿勢は**立置きが原則**です。
　横、横平および傾斜した状態では、止水性能が低下することがあります。
・ソフトシール仕切弁は、止水性能に流れ方向の制限はありません。
　いずれが上流側、下流側になっても支障ありません。
・継手部の接合要領は、**『スッポンMジョイント施工手順』**を参照願います。
・据付後は、清掃や補修塗装を行ってください。

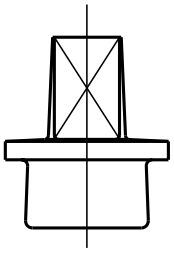
据付施工後の確認事項

・据付姿勢が正しく、押輪、ストップリングの締付ボルト・ナットの締め忘れがないことを確認してください。
・ストップリングのツメ部の両側にすき間があることを確認してください。

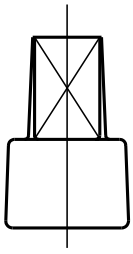
試運転

据付後は試運転を行ってください。

(1) バルブの開閉は、キャップの操作方向に従い、**全開から全閉までの全工程が、円滑に作動することを確かめてください。**
　なお、ツバ付きのキャップは左回り開き、ツバなしのキャップは右回り開きです。
　一方、開度計付の場合は、O（開方向）、S（閉方向）の表示があり、弁の開閉の度合いが表示されます。



左回り開き



右回り開き

(2) スッポンMソフトはゴムを圧縮して止水しますので、全閉時の操作力の変化は緩慢です。そこで、**全閉手前までは軽く締め、さらに、あと約 1/3～1/2 回転を目安に、締め込んでください。**なお、締め込みトルクと回転数は次の通りです。

締め込みトルクと回転数

呼び径	締め込みトルク(N･m) 3種：10K	全開～全閉 おおよその回転数
５０	６０	１３
７５	７５	１３
１００	１００	１７
１２５	１２５	２３
１５０	１５０	１９

(3) **試運転の初期通水時**は、管路内の異物が弁座部に噛み込むことがあります。万一、止水できない時は、無理に締め込まずに、**一旦バルブを開き異物を下流に流した後、再度閉操作**を行ってください。